

第2学年 学級活動指導案

研究主題 「5つのKを基盤とした授業実践による、自ら学ぶ生徒の育成」
研究副主題 「生きる力を身につけるための、生徒の内面性を育む指導の工夫」

(5つのK=か：活躍、き：共感・共有、く：比べる、け：決定、こ：声を出す)

1. 題材 「多様な性について考え、理解しよう」

2. 題材設定の理由

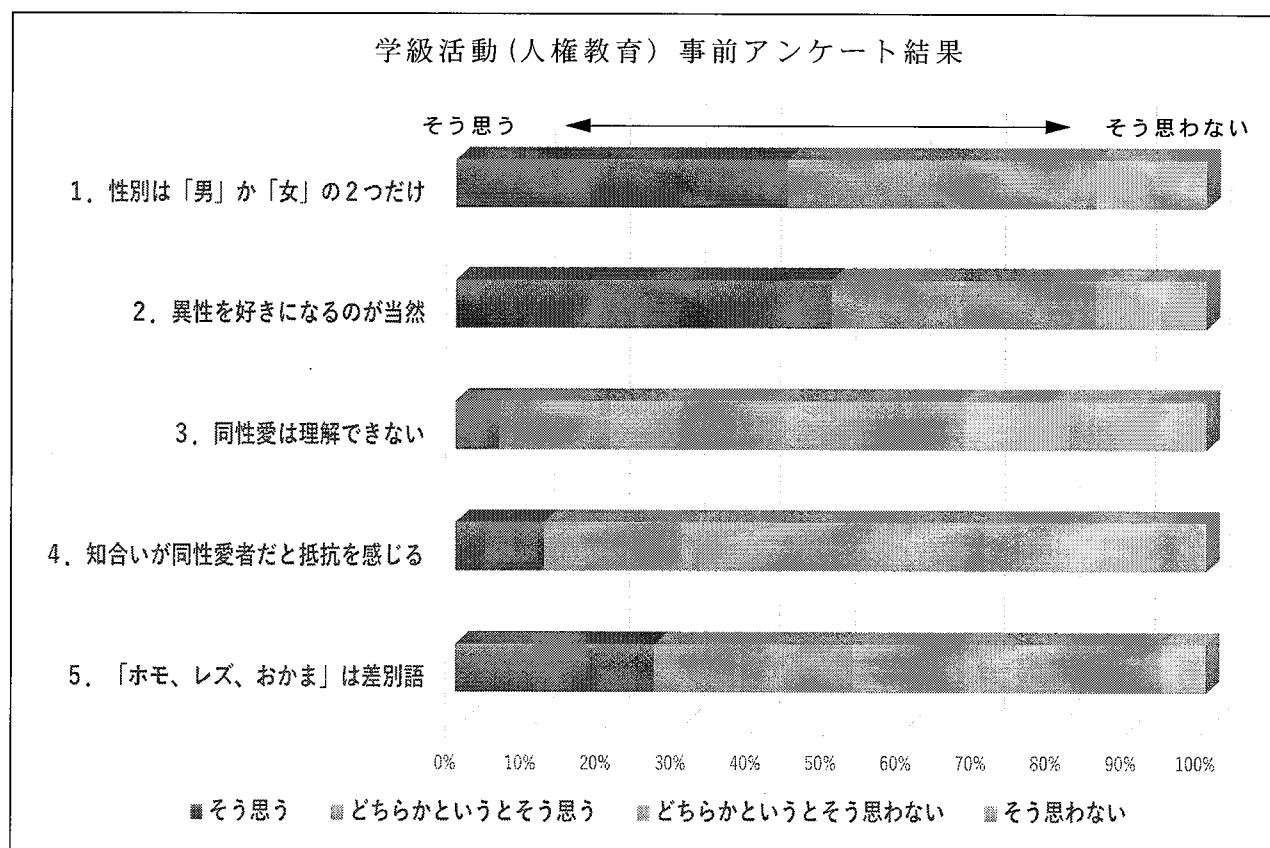
会津坂下町は福島県の人権教育指定を受けて2年目を迎える。本校では、日頃から全ての教育活動を通して人権教育を推進している。

本題材では、多様な性（LGBT）について取り扱う。近年、テレビ等で LGBT などの性的マイノリティの人達が話題となる場面を目にする機会が増えた。しかし、そうした人達はメディアによって脚色されている場合が多く、子どもたちに間違った印象を植え付けていることが少なくない。そこで、LGBT についての正しい知識を身につけさせ、彼らが抱える社会的な問題点を捉えさせるとともに、少数派や多様性を受け入れることができる寛容な態度を養うために、本題材を設定した。

3. 生徒観（男子○名、女子○名）

中学2年生ということもあり、発達段階的に異性を意識し始めている生徒もいれば、まだ幼さが残る生徒もいる。全体的におとなしく、授業中積極的に発言する生徒は少ないが、学校行事等では男女で協力して活動する姿が見られる。

本学級の生徒を対象に行った「多様な性」に関する事前アンケートでは、以下のような結果となった。



この結果から、7割程度の生徒が「性別は男女のみ」「異性を好きになるのが当然」と考えていることがわかる。それに対して、「同性愛は理解できない」と答えた生徒の割合は2割程度であり、理解を示す生徒が多いことがわかった。しかし、友達や家族といった「知り合いが同性愛者だと抵抗を感じる」生徒は3割程度おり、自分自身に関係するとなると受け入れがたい生徒が増えることがわかる。本授業を通して、LGBTなどの多様な性についての理解を深めるとともに、彼らが抱える問題を考えさせることにより、性的マイノリティを認め、対応できる人権感覚を養いたい。

4. 指導観

普段の学校生活において、多様な性（LGBT）について触れる機会はほとんどない。しかし、統計上人口の5%～8%の割合でLGBTといった性的マイノリティが含まれていると言われている。これまでは成人の問題として考えられてきたが、近年の調査では13歳頃から性自認が始まり、心と身体の不一致などにより自らのアイデンティティに悩み、苦しんでいる生徒がいることが報告されている。本題材での指導を通して、多様な性についての正しい知識を身につけさせるとともに、性的マイノリティに対する差別や偏見をなくし、個性を受け入れ、共生の道を探そうとする寛容な態度を育てたい。

5. 人権教育との関わり

【視点1】人権に関する基本的な知識についての理解を深める工夫

本題材では、LGBTについて取り扱う。性的マイノリティという少数派や多様性について学び考えることにより、人権に関する基本的な知識についての理解を深める。

【視点2】生徒の内面性を育む指導の工夫

生徒の学習活動の中に「5つのK」を意図的に取り入れる。一人一人が活躍する場面や、お互いに共感・共有する場面、考えを比べる場面、自らの意思で決定する場面、声に出して自分の考えを相手に伝える場面を設定することで、生徒の内面性を育むようにする。

また、LGBTの立場になって彼らの抱える問題点を考えることにより、他者の気持ちに寄り添い、受け入れながら、自他を尊重する態度を養うことができるようにする。

6. 指導計画

○「多様な性について考え、理解を深める」……………1時間（本時）

7. 本時のねらい

- （1）多様な性（LGBT）について理解することができる。
- （2）LGBTの立場になって、問題点や共生について考えることができる。

8. 準備物

PC、プロジェクター、スクリーン、フラッシュカード、参考資料、付箋、ワークシート①・②、ホワイトボード、マーカー

9. 板書計画

性にはどのようなものがあるだろうか？	彼らが抱える問題点とは？	
LGBT … 5 ～ 8 % 性的マイノリティ L … レズビアン 〈女→女♡〉 G … ゲイ 〈男→男♡〉 B … バイセクシャル 〈両方♡〉 T … トランスジェンダー 〈心⇄身体〉	各班の ホワイトボード	・問題点 ・問題点

10. 指導過程

段落	学習活動・内容	時間	○主な支援・留意点 ●評価＜方法＞
導入	1. あいさつ 2. 事前アンケート結果を確認する。 3. 課題を把握する。 性には、どのようなものがあるだろうか？	1 5	○あいさつをする。 ○事前に行ったアンケートの結果を提示する。 ○課題を提示する。
展開	4. 性の4つの要素を知り、自分の性について考える。 (1) 性の4要素とは何かを知る。 (2) 性の4要素の図を基に、自分の性について考える。 5. 「LGBT」という言葉と意味を知る。 性的マイノリティについて理解する。 ・人口の3～5%（5～8%）の人がLGBTと感じている。 6. 参考資料の人達の性自認例に触れ、性の多様性について知る。 (1) 資料を参考に、それぞれの性自認がLGBTのどれに該当するかを話し合う。 (2) LGBTの枠組みに当てはまらない性もあることを知る。（性の多様性） 7. LGBTの人達の立場になり、日常生活での問題点について考える。 (1) VTRを見て、問題点を考える。 (2) VTRの場面以外で考えられるLGBTの人達が直面する問題点を話し合う。 可能であれば解決策についても考える。 ①学校生活での場面 ②社会生活での場面 (3) 他の班の意見と比較する。	3 6 5 20	○性には4つの要素があることを示し、自分の性について考えさせる。 ○4要素＝①身体 ②心 ③表現 ④恋愛対象 ○ポイント（PP）で4要素の図を示す。 ・次の点に注意させる。 ★結果を紙に書かない。 ★班のメンバーや友達に話したりしない。 ○「LGBT」という言葉を提示し、意味を説明する。 ・L… Lesbian (レズビアン) ・G… Gay (ゲイ) ・B… Bisexual (バイセクシャル) ・T… Transgender (トランスジェンダー) ○LGBTであることをカミングアウトしている人達の性自認例を提示する。 ○班のメンバーで話し合いを行わせ、意見を交換させる。【K:共感・共有】 【K:比べる】 ○班のメンバーで話し合いを行わせ、意見を交換させる。【K:共感・共有】 【K:比べる】 ・KJ法を用いて話し合わせる。 ①問題点を考えさせる。（青色の付箋） ②解決策を考えさせる。（黄色の付箋） ③各班にホワイトボードを配付し、主なものを記入させ、黒板に貼らせる。 ④各班の意見をいくつか紹介する。
終末	8. LGBTをめぐる社会の動きを知る。 (1) レインボーフラッグ (2) 啓発活動 (3) 相談窓口 9. 本時の授業を振り返る。 (1) ワークシートに①、②を記入する。 ①性の多様性について学んだこと。 ②身の回りにLGBTの人がいた場合、どのように接することができるか。 10. あいさつ	3 6 1	○PPで資料を提示し、説明する。 ・LGBT（FTM / パンセクシャル）の体験談を読み聞かせる。 ○ワークシートを配付し、記入させる。 ●性の多様性についての知識を得るとともに、性的マイノリティの人々に対する理解を深めることができたか。 ＜観察・ワークシート＞ ○あいさつをする。